

八丈島 水産だより

7月号
2023年



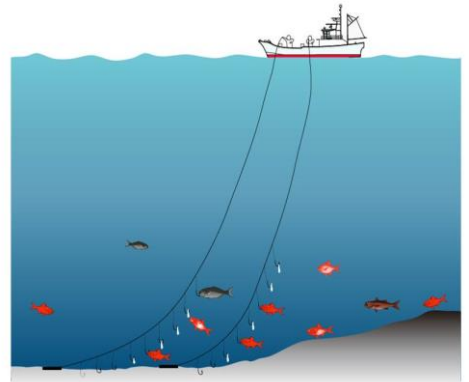
たんぼまつりでの田植えの様子
@和泉親水公園

梅雨はまだ続いているが、徐々に暑くなる日が夏の訪れを感じさせる気候になってきました。さて、6月10日に和泉親水公園で『第19回たんぼまつり』が行われました。八丈島は伊豆諸島で唯一稲作をしていた歴史があり、この文化の保存・継承のために毎年田植え体験が行われています。当日はあいにくの雨予報でしたが、なんとか天気もち、子どもから大人まで80名を超える島民が集まり、皆で一生懸命に苗を植えました。この日に植えた稲の苗は秋に向けて大きく成長し、秋の『たんぼまつり』で収穫される予定です。

■ 最近の漁模様 ~キンメダイ、水揚げ好調！~

八丈島で現在最も多く水揚げされている魚はキンメダイです。キンメダイは鮮やかな赤い体と大きな金色の目が特徴の深海魚で、大きなものは体長50cm、体重4kgにもなります。

キンメダイは、底魚一本釣りと呼ばれる漁法で漁獲されます。他の魚がなかなかとれない中、キンメダイは豊漁で、上半期で見ると、今年の漁獲量は過去最高となっています。



底魚一本釣り漁法

引き続き良い調子で水揚げがあると良いですね。

■ タイ？アヤカリダイ？

島でとれるあやかり鯛（一部）



キンメダイ
キンメダイ目
キンメダイ科

アオダイ(アオセ)

スズキ目
フエダイ科



キンメダイやシダイ、メダイなど、名前に「タイ」と付く魚は多くありますが、実はほとんどが分類学的にはタイの仲間（タイ科）ではないのです。このように、タイの仲間ではないのに「〇〇ダイ」と名付けられた魚は「あやかり鯛」と呼ばれます。

八丈島で水揚げされるキンメダイやメダイ、アオダイなども「あやかり鯛」であり、実はタイの仲間ではありません。魚屋さんやスーパーで「あやかり鯛」を探してみたいはいかがでしょうか。